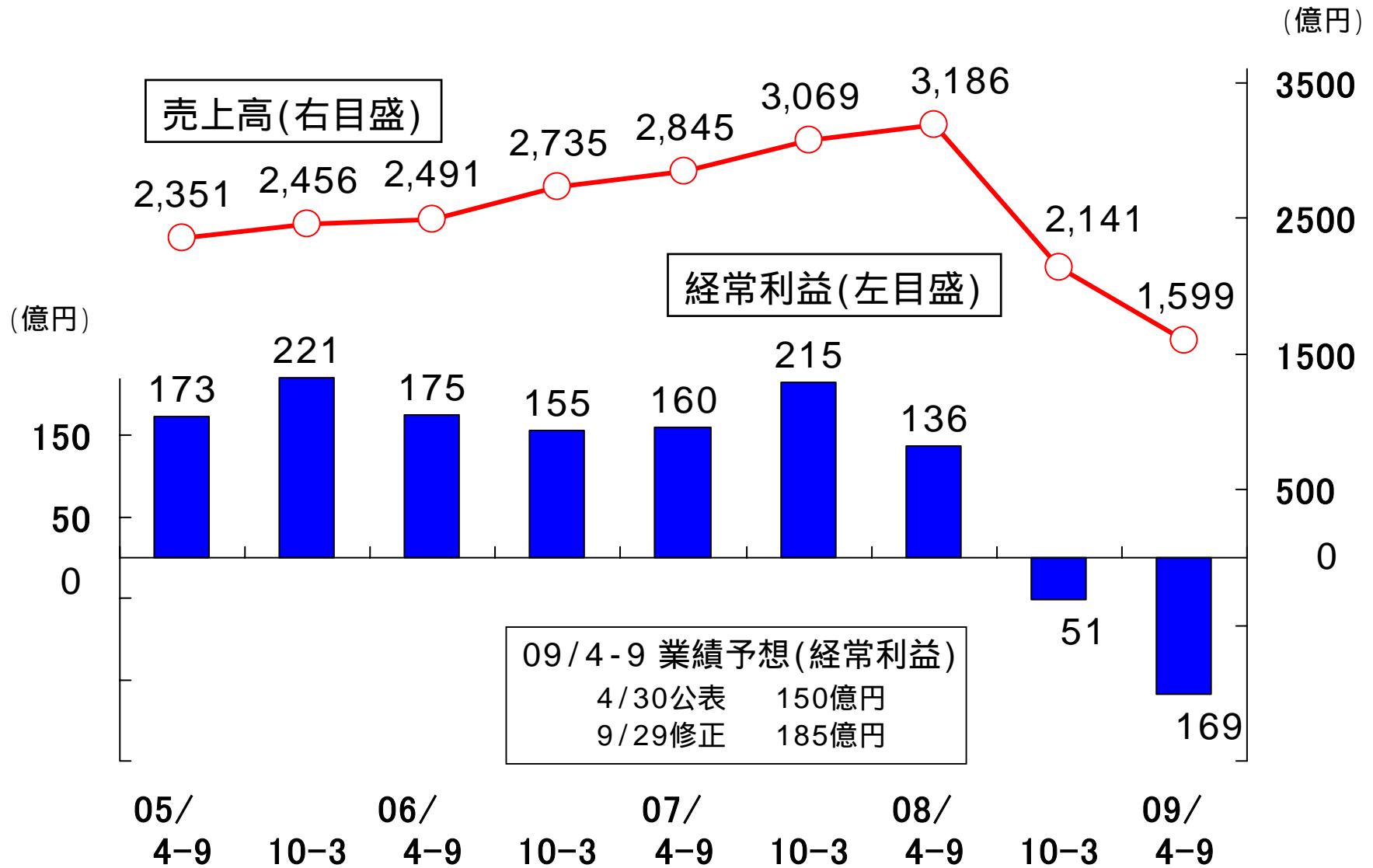


2009年度 第2四半期決算説明会

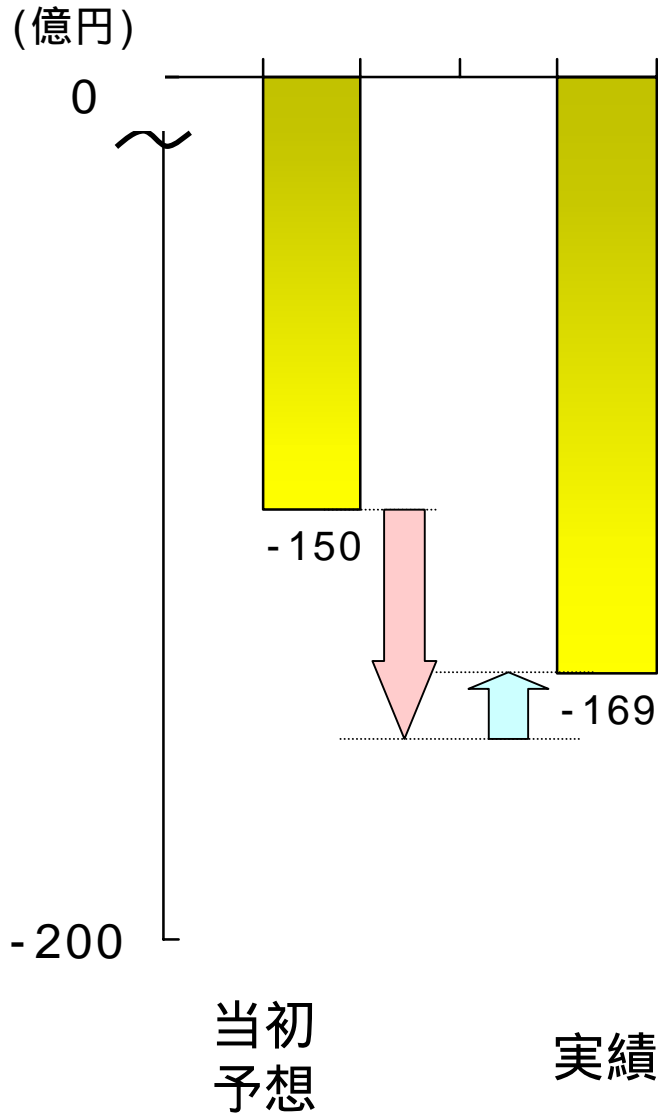
2009年10月30日

2009年度
第2四半期決算
(2009年4月～9月)

売上高・経常利益推移 (半期)



09 / 4 - 9 経常利益の変化要因(当初予想対比)



09 / 4 - 9 経常利益計画		
当初予想対比変化	営業損益	原料影響
		数量変化
		価格変化
		内容変化
		変動費
		固定費
	合計	
営業外損益		
09 / 4 - 9 経常利益		

(億円)

150	
5	
	+8
10	
16	
2	
33	+8
	+6
169 (19)	

09 / 4 - 9 セグメント別売上高・営業利益

(億円)

		08/4-9 実績 (A)	09/4-9 実績 (B)	前年度差 (B) - (A)
特殊鋼鋼材	売上高	1,906	857	-1,049
	営業利益	44	128	-172
電子・磁性材料	売上高	385	179	-206
	営業利益	19	13	-32
自動車部品・ 産業機械部品	売上高	607	322	-285
	営業利益	47	28	-75
エンジニアリング	売上高	171	150	-21
	営業利益	10	13	3
新素材	売上高	64	30	-34
	営業利益	9	20	-29
流通・サービス	売上高	53	61	8
	営業利益	7	6	-1
合計	売上高	3,186	1,599	-1,587
	営業利益	136	170	-306

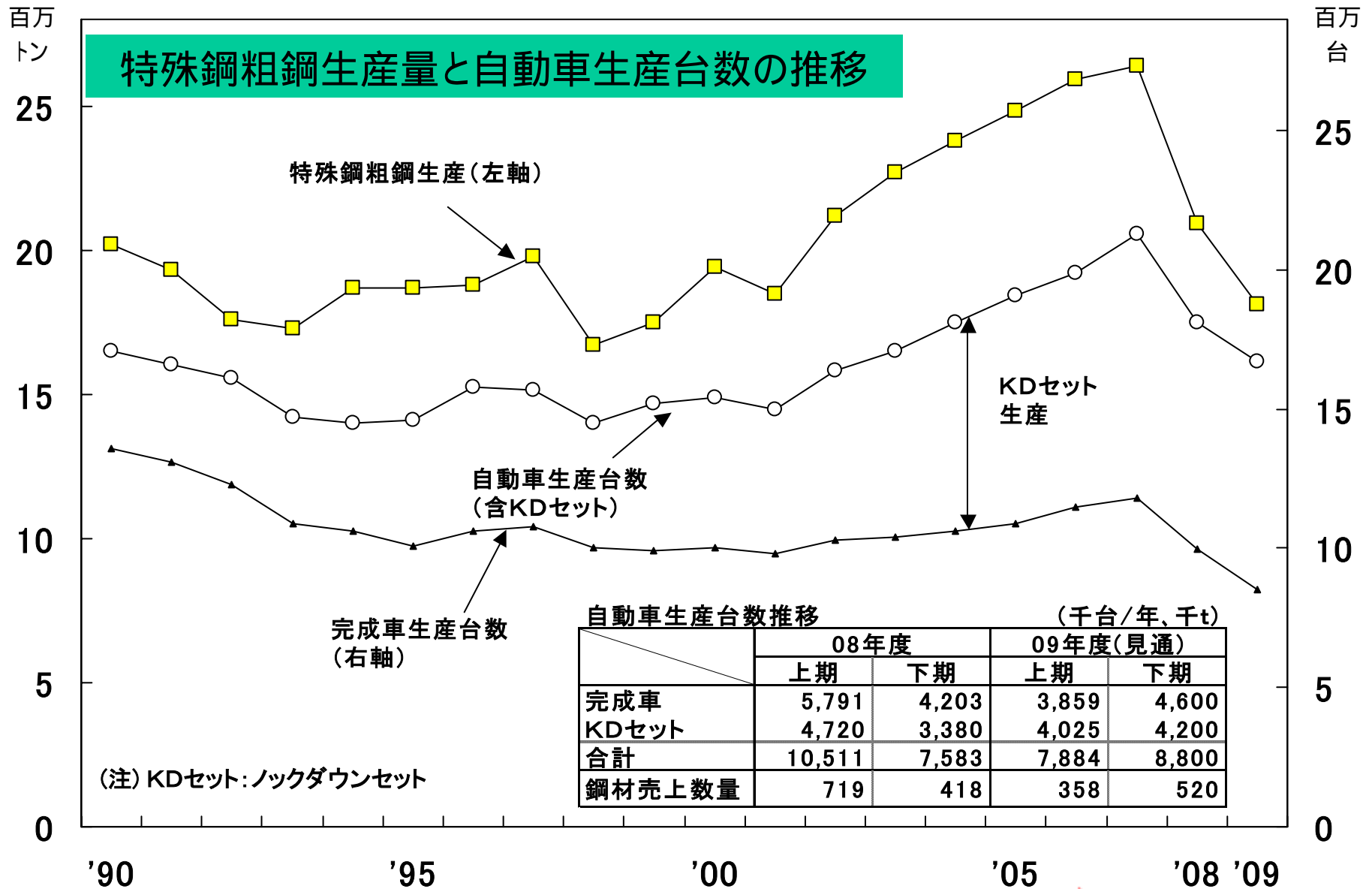
09 / 4 - 9 特別損益・当期純利益について

(億円)

09年度第2四半期 経常利益	169
特別損益	0
法人税等	3
09年度第2四半期 当期純利益	172

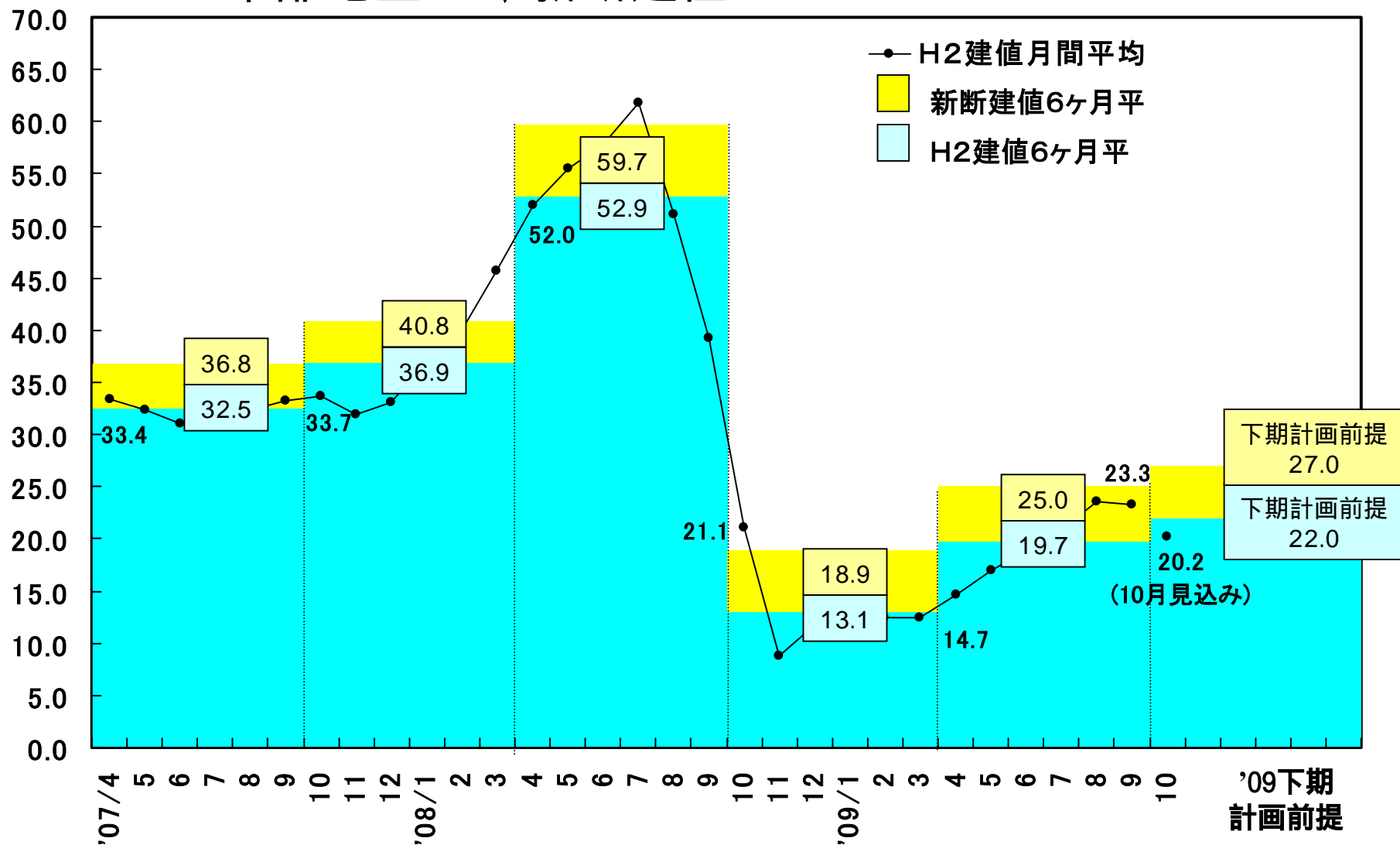
2009年度見通し

特殊鋼と自動車生産



原料市況 (鉄スクラップ)

(千円/トン) < 中部地区H2、新断建値 >



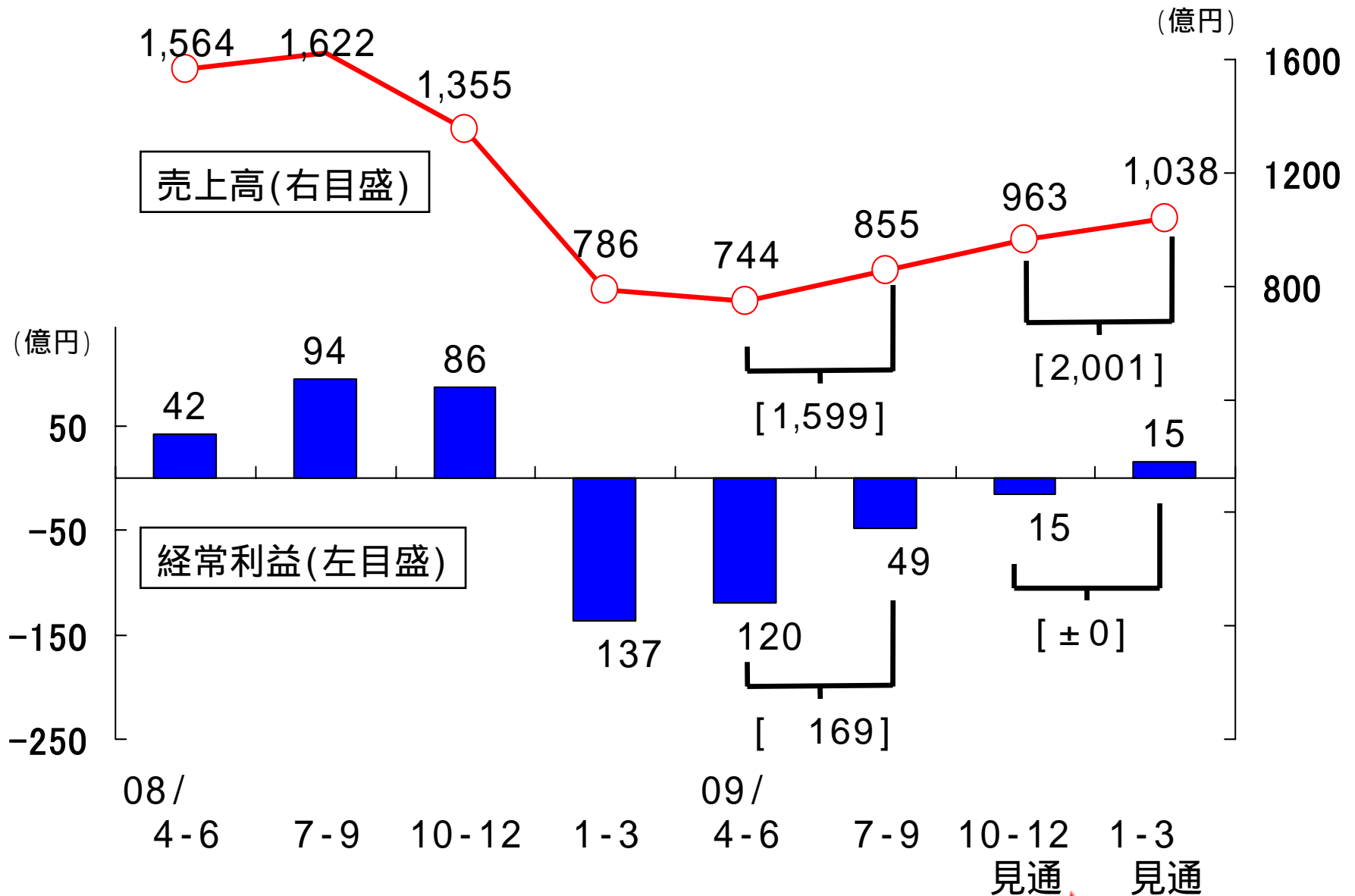
09年度 利益計画の前提(市況)

	単位	08年度 実績	09/4-9 実績	09/10-3 計画前提	09/10-3 当初前提
鉄スクラップ 上段: 中部H2建値 下段: 中部新断建値	千円/t	33.0 39.3	19.7 25.0	22.0 27.0	23.0 28.0
ニッケル (LME)	\$/LB	7.48	6.95	8.00	5.5
モリブデン (MW)	\$/LB	23.0	11.8	18.0	12.0
クロム (南ア建値)	¢ /LB	173.3	87.0	100.0	100.0
為替レート	円/\$	100.5	96.5	90	90

鉄スクラップ 調整局面へ
モリブデン 上昇傾向

ニッケル 市況上昇
クロム ほぼ横這いで推移

売上高・経常利益推移 (四半期)



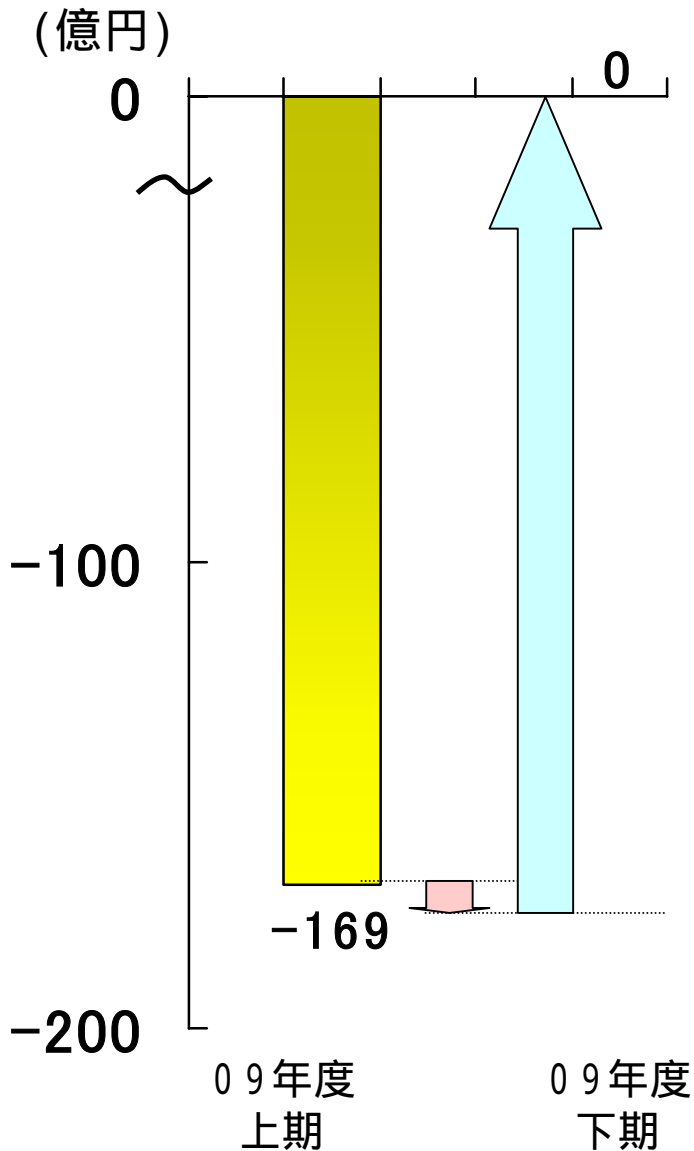
09年度 セグメント別売上高・営業利益

(億円)

		09/4-9 実績 (A)	09/10-3 見込 (B)	上下差 (B) - (A)	09年度 見込 (A)+(B)
特殊鋼鋼材	売上高	857	1,187	330	2,044
	営業利益	128	21	149	107
電子・磁性材料	売上高	179	227	48	406
	営業利益	13	13	0	26
自動車部品・ 産業機械部品	売上高	322	364	42	686
	営業利益	28	5	23	33
エンジニアリング	売上高	150	140	-10	290
	営業利益	13	2	-15	11
新素材	売上高	30	38	8	68
	営業利益	20	4	16	24
流通・サービス	売上高	61	45	-16	106
	営業利益	6	3	-3	9
合計	売上高	1,599	2,001	402	3,600
	営業利益	170	0	170	170

09年度 経常利益の変化要因(上期対比下期)

(億円)



09年度上期経常利益		
前年度対比変化	営業損益	原料影響
		数量変化
		価格変化
		内容変化
		変動費
		固定費
	合計	
	営業外損益	
09年度下期経常利益 想定		

169	
	+18
	+78
	+36
	+20
	+23
5	
5	+175
1	
±0(+169)	

コスト削減の推進

固定費削減

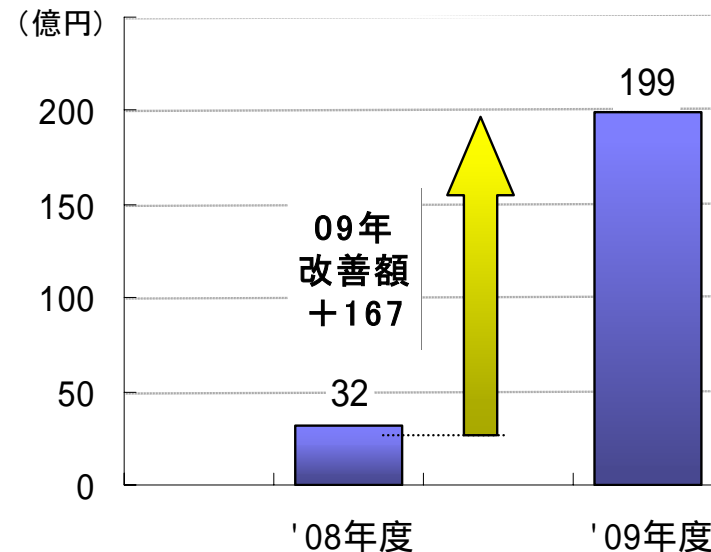
	(億円)		
	(08年度対比改善額) 09計画	見込み	差
労務費	+139	+141	+2
退職給付費用	26	28	2
減価償却費	+18	+18	0
補修費他	+34	+36	+2
合計	+165	+167	+2

(特別退職金計画差-6、その他+8)

変動費改善

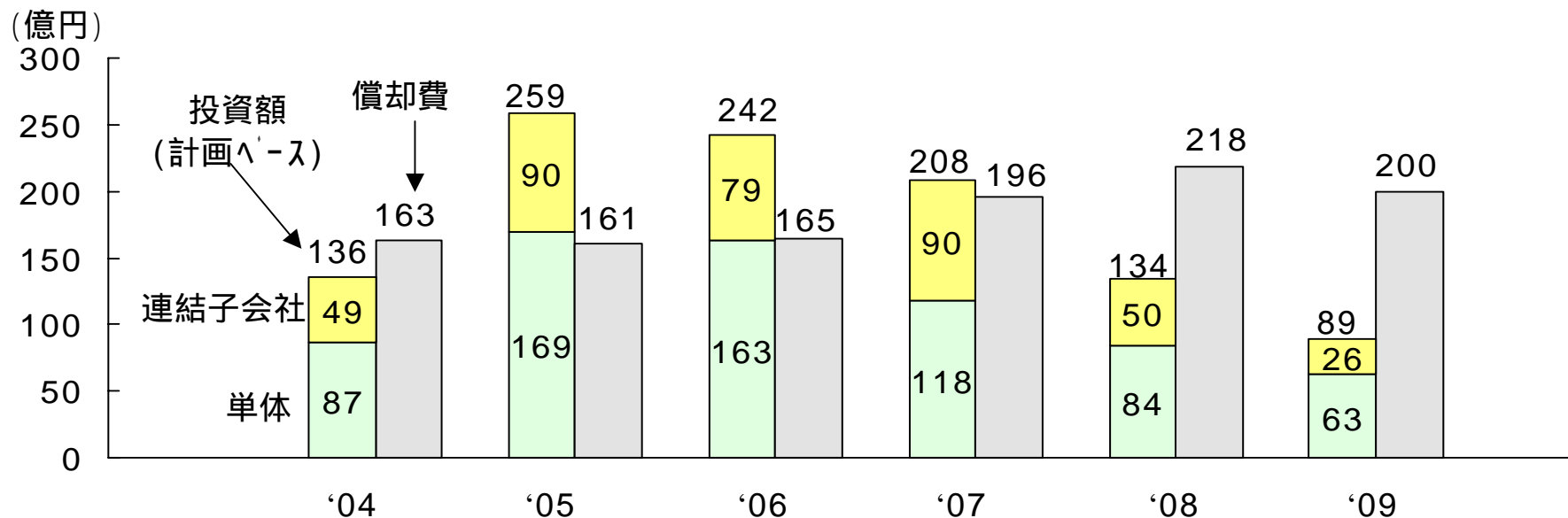
	(億円)		
	09計画	見込み	差
	+29	+32	+3

<固定費削減推移(07対比)>



- ・ 生産プロセス革新
CC比率最大化、1ヒート拡大、整検レス
- ・ 品質、コストの追求
一貫歩留改善、資機材原低

設備投資

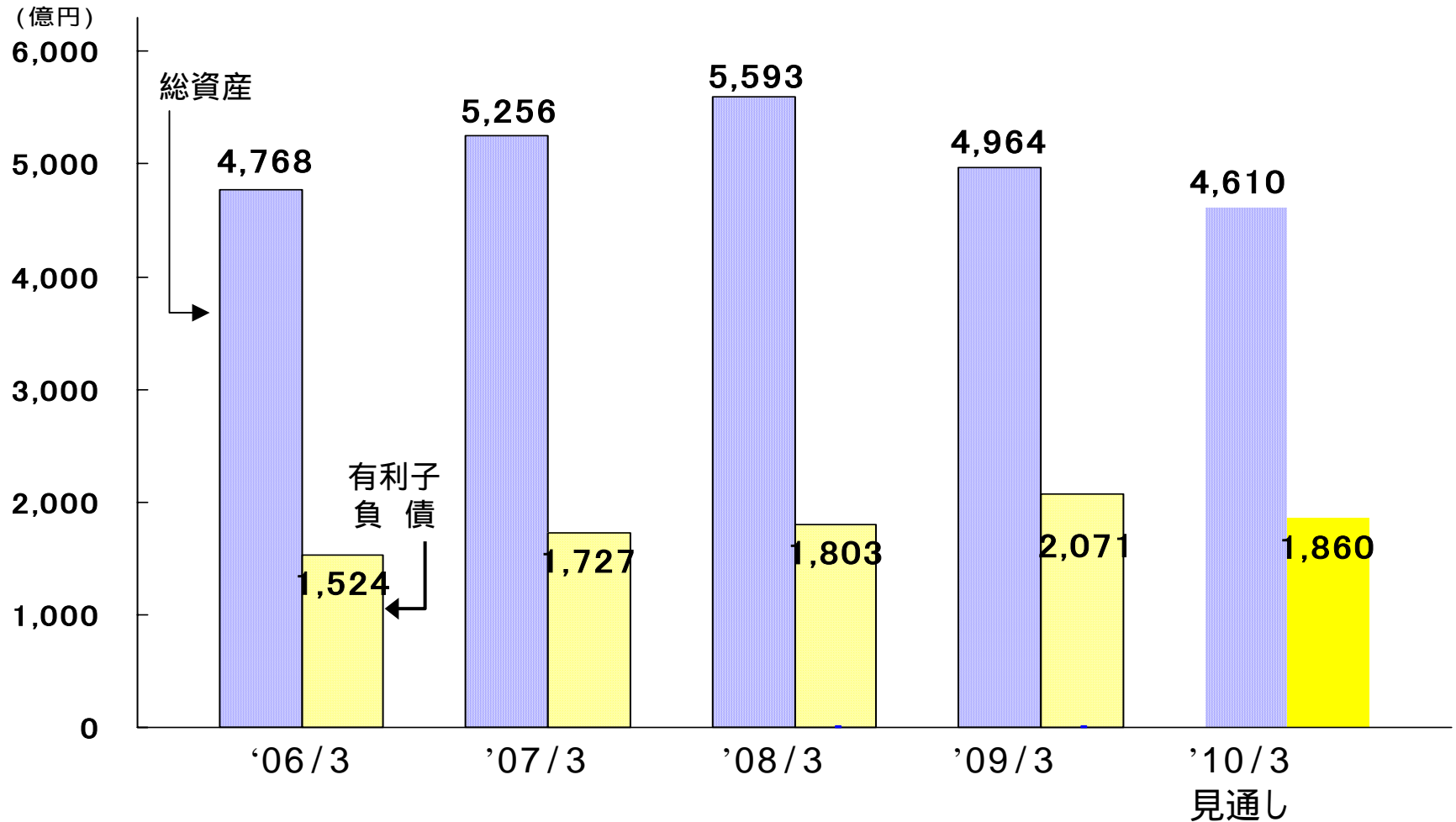


- ・ 05～08年度で当面必要な戦略投資を実施 (累計843億円)
- ・ 今後は抜本的構造改革のための合理化、少人化投資へ
- ・ 70%稼働下での利益体制構築

[稼働年度別主な設備投資案件]

	～06年	07年	08年	09年～
特殊鋼鋼材	CC鑄造能力拡大		線材鋼片合理化	構造改革投資
産業機械部品	加工・検査増強	ESR	7000tプレス、VAR	真空機能付ESR
自動車部品	熱間高速鍛造機	リングロール・ライン		
新素材	粉末能力増強	チタン新溶解炉		

総資産、有利子負債、ROA、D/Eレシオ



	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3	'10/3
ROA	8.6%	6.6%	6.9%	1.6%	-
D/E	0.88	0.92	0.96	1.25	1.26

09年度 配当見通しについて

	08年度		09年度	
	中間期	通 期	中間期	通 期
経常利益 (億円)	136	85	169	169
当期純利益 (億円)	61	81	172	172
配当 (円/株)	4.0	6.0	0	未定

'10年、'11年における 重点課題

基本方針

➤ 持続的成長に向けた抜本的構造改革

タスクフォース型プロジェクトの展開

コストダウン 30%

生産リードタイム改革によるC / F創出

➤ 成長分野への積極展開

高機能・差別化の更なる追求

グローバル市場への積極展開

新規事業の事業化推進

経営の方向性

ターゲット領域

特殊鋼鋼材

自動車・
産業機械部品

電子・磁性材料

エンジニアリング

新素材・
新規事業

抜本的
構造改革

・設備統廃合
・線材加工再編

・型鍛造事業
グループ3社協業強化

・帯鋼事業再構築

・ポートフォリオ改革
部品事業への集約

・モノ作り改革
(生産性抜本的向上)

・生産部門 : 『70%稼動下での人員適正化と確固たる利益の確保』
・資産効率化 : 『リードタイム短縮による総資産削減と、効率生産の追求』

環境
エコ
関連

・高強度歯車用鋼
(軽量化)
・コモンレール用鋼

・原発関連部品拡販
・チタンターボ部品
・エチレン・スーパーチューブ

・自動車用磁石

・省CO₂ 関連拡販
(真空浸炭炉)

・HEV用
機能性粉末

高機能、差別化製品の
更なる追求

成長分野
への
積極展開

海外
(新興国)
市場

・ティムケン社アジア協業
・南米ゲルダウプロジェクト
・インドプロジェクト
・工具鋼アジア拡販

・欧州ターボ市場拡販

・EPS用磁石増強
(中国)

・アジア設備需要取込
(STC炉、製鋼設備)

・集光型太陽光発電

欧州拠点強化

東アジア営業調達拠点強化

抜本的構造改革

☆タスクフォース型プロジェクトの推進

原価 30%低減活動

- ・労務費削減
 - 直接部門：70%稼働での人員適正化
 - 間接部門：業務スリム化による大幅人員削減
- ・原料費低減
 - 調達原低(海外調達拡大)、歩留改善
- ・開発製品の新規事業化による雇用創出

成長分野への積極展開

環境・エコ関連商品

温暖化防止
(CO₂削減)

有害物質対策
ほか

既存自動車

次世代車

エネルギー

ディーゼル車関連
・コモンレール用鋼
・ターボ部品
真空浸炭炉 + DE G鋼
高強度歯車用鋼
EPS用リング磁石
高合金エンジンバルブ

ハイブリッド車部品
・軟磁性粉末
車載センサー
真空焼結炉

太陽光発電
・集光型発電
GIGセンサー
制振合金

非鉛快削磨棒鋼
高性能LED
円筒ターゲット材料
酸素バーナー
応用設備

売上高

09年度見込 220億円

11年度計画 320億円

成長分野への積極展開

新興国市場への展開

社会インフラ整備

資源の高騰

エネルギー需要の拡大

建機・産機関係

資源有効活用
・省資源

石油

発電
(火力・原子力)

高品位・太径構造材料
[ティムケン社提携]

中空鋼

冷間ダイス鋼
・DCLT、DCMX

高窒素ステンレス鋼帯

燃料用炭化炉

EST
(エチレンプラント用
アンチコーキング管)

石油掘削用
ドリルカラー

ガスタービン部品

原子力発電部材

売上高

09年度見込 60億円

11年度計画 150億円

成長分野への積極展開

グローバル化・少子高齢化・融合戦略

グローバル化

少子高齢化

ヒト・モノの移動拡大

情報高度化

医療の高度化

航空機エンジンシャフト

船舶用大型
エンジンバルブ

HDD用ステンレス鋼

高級プラスチック金型鋼

コバルト蒸着材

Nd-Fe-Bボンド磁石

フレキシブルノイズ
制御シート

磁気シールドルーム

医療用チタン合金

売上高

09年度見込 150億円

11年度計画 210億円

成長分野への積極展開

欧州

欧州自動車市場への拡販

- ・欧州拠点強化
- ・ターボ関連製品拡大

中近東

- ・EST
(エチレンスーパーチューブ)

アジア

成長市場の進出

- ・ティムケン社との協業推進
- ・インドプロジェクト
- ・中国営業拠点現法化
- ・工具鋼アジア拡販

北米・南米

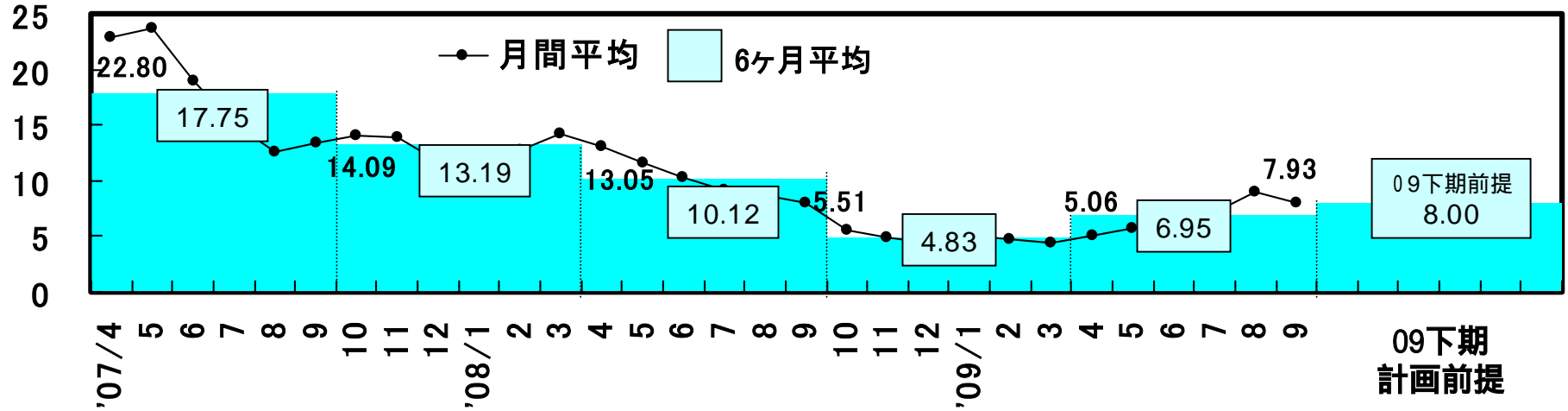
- ・アライアンス強化
(ティムケン社・ゲルダウ社)
- ・集光型太陽光発電

-  製造拠点
 -  在庫販売拠点
 -  販売拠点
- 09年3月末現在

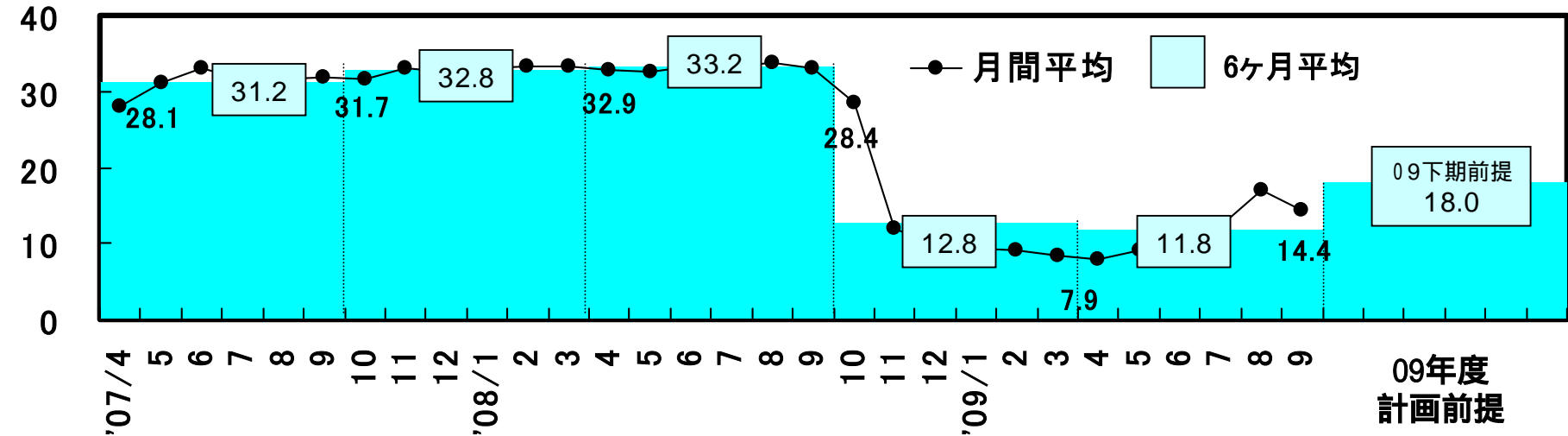
参考資料

ニッケル市況 (LME) ・モリブデン市況 (MW)

(\$/lb) <ニッケル LME市況>



(\$/lb) <モリブデン MW市況>



Fact Book

1. 業績のハイライト

連結

(百万円)

	05/3	06/3	07/3	08/3	09/3	06/9	07/9	08/9	09/9
売上高	429,105	480,703	522,620	591,398	532,655	249,084	284,505	318,648	159,934
営業利益	21,456	37,542	31,700	38,441	9,115	16,731	15,724	13,599	▲17,015
経常利益	22,630	39,366	33,029	37,501	8,533	17,478	16,042	13,648	▲16,888
当期利益	11,385	21,196	19,552	14,196	▲8,147	10,122	3,596	6,147	▲17,187
研究開発費	3,094	3,574	4,313	4,447	4,244	2,071	2,111	2,223	1,911
設備投資額	13,600	25,900	24,200	20,800	13,400	13,000	9,600	11,200	3,700
減価償却費	16,328	16,067	16,544	19,586	21,809	7,970	9,026	11,011	10,071
金融収支	▲1,095	▲647	▲713	▲950	▲741	▲139	▲387	▲176	▲677
総資産	436,335	476,816	525,569	559,278	496,411	493,851	544,157	570,399	453,231
自己資本	144,267	172,647	187,839	188,090	166,235	179,257	188,524	189,891	153,776
有利子負債	159,648	152,387	172,732	180,295	207,123	162,752	187,531	190,076	183,848
従業員数(人)	9,992	10,231	10,664	11,131	10,212	10,630	10,805	11,418	10,660
ROA(%)	5.2	8.6	6.6	6.9	1.6	7.2	6.0	4.8	-
ROE(%)	8.2	13.4	10.8	7.6	▲4.6	11.5	3.8	6.5	▲21.5
連結子会社数	32	31	32	32	32	32	32	32	32
(持分法適用会社外数)	(8)	(8)	(8)	(6)	(6)	(8)	(8)	(6)	(6)
連単倍率(倍)									
売上高	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5				
経常利益	2.4	1.9	2.1	2.0	7.4				
当期利益	2.3	1.3	1.8	0.7	-				

* 減価償却費は長期前払費用含まず

2. セグメント別売上高、営業利益

連結

(億円)

		05/3	06/3	07/3	08/3	09/3	06/4-9	06/10-3	07/4-9	07/10-3	08/4-9	08/10-3	09/4-9
特殊鋼鋼材	売上高	2,314	2,656	2,877	3,296	3,069	1,370	1,507	1,574	1,722	1,906	1,163	857
	営業利益	99	193	117	114	8	73	44	35	79	44	▲ 36	▲ 128
電子・磁性材料	売上高	507	517	645	792	647	295	350	395	397	385	262	179
	営業利益	20	30	34	58	▲ 6	11	23	32	26	19	▲ 25	▲ 13
自動車部品・ 産業機械部品	売上高	930	1,041	1,070	1,159	1,041	523	547	572	587	607	434	322
	営業利益	69	109	105	134	46	55	50	56	78	47	▲ 1	▲ 28
エンジニアリング	売上高	307	339	372	411	366	177	195	171	240	171	195	150
	営業利益	8	17	23	29	27	12	11	8	21	10	17	13
新素材	売上高	82	115	139	156	104	58	81	79	77	64	40	30
	営業利益	7	10	23	35	4	7	16	17	18	9	▲ 5	▲ 20
流通・サービス	売上高	151	139	123	100	100	68	55	54	46	53	47	61
	営業利益	12	16	15	14	12	9	6	9	5	7	5	6
合計	売上高	4,291	4,807	5,226	5,914	5,327	2,491	2,735	2,845	3,069	3,186	2,141	1,599
	営業利益	215	375	317	384	91	167	150	157	227	136	▲ 45	▲ 170

3. 連結会社一覧

セグメント	会社名	事業の内容
特殊鋼鋼材	東北特殊鋼(株) *	高級特殊鋼の製造、販売
	理研製鋼(株) *	特殊鋼2次製品(軸受鋼、工具鋼)の製造、販売
	下村特殊精工(株)	快削鋼、快削ステンレスの引抜、研削加工品の製造、販売
	大同アミスター(株)	金型製品及び完成工具の製造、販売
	大同マテックス(株)	工具鋼等の加工及び販売
	丸太運輸(株) *	運輸及び倉庫業
	川一産業(株) *	運輸及び倉庫業
	大同資材サービス(株)	鋼材生産用資材等の販売
	大同エコメット(株)	製鋼用副資材の開発、製造、販売
	大同テクニカ(株)	鋼材等の疵取、整備、加工等の作業
	桜井興産(株) *	金属熱処理全般
	泉電気工業(株) *	電気工事の設計施工、配電盤等の設計製作
	日本精線(株)	ステンレス鋼線、金属繊維、ダイヤモンド工具等の製造、販売
	天文大同特殊鋼股份有限公司	金型製品の熱処理、加工、販売と金型素材の販売
	DAIDO AMISTAR(S) PTE LTD	金型製品の加工、販売と金型素材の販売(在シンガポール)
DAIDO AMISTAR(M) SDN.BHD.	金型製品の加工、販売と金型素材の販売(在マレーシア)	
DAIDO PDM(THAILAND)Co.,LTD.	金型製品の加工、販売と金型素材の販売(在タイ)	
電子・磁性材料	(株)ダイドー電子	磁性材料及び電子機器部品の製造、販売
	Daido Electronics(Thailand) Co.,Ltd.	磁性材料及び電子機器部品の製造、販売(在タイ)
	大同スペシャルメタル(株)	米国Special Metals社との合併: ニッケル合金製品販売

(注)* 持分法適用会社

セグメント	会社名	事業の内容
自動車部品・ 産業機械部品	大同精密工業(株)	圧縮機器等の加工部品、動力伝達機器、免振・制振装置等の製造、販売
	フジオーゼックス(株)	エンジンバルブ等の製造、販売
	日星精工(株)	ネジ、ボルト及び自動車用冷鍛部品の製造、販売
	東洋産業(株)	型鍛造品の製造、販売
	日本鍛工(株)	型鍛造品の製造、販売('02/10完全子会社化)
	OHIO STAR FORGE CO.	精密鍛造品の製造、販売（在米国）
	大同スターテクノ(株)	鋼材、鍛造品の疵取、整備、機械加工等の作業
(株)大同キャスティングス	02/4発足。ステンレス鑄造品、精密鑄造品、マンガンレール製造・販売	
エンジニアリング	大同プラント工業(株)	工業炉、設備機械及び付帯設備の設計、製作、販売
	大同マシナリー(株)	工作機械の製造、販売、機械設備の補修他
	大同環境エンジニアリング(株)	環境設備の維持管理、補修
流通・サービス	大同興業(株)	特殊鋼鋼材、各種機械、製鋼用原料資材、建材の専門商社
	Daido Steel(America)Inc.	大同グループ製品の輸出入業務、グループの対米窓口（在米国）
	(株)大同ライフサービス	不動産の売買、分譲、福利厚生施設管理、保険代理店業務
	(株)ライフサポート	福利厚生事業他
	木曾駒高原観光開発(株)	ゴルフ場、ホテルの経営
	(株)スターインフォテック	情報システムの企画、設計、開発、保守運用、ソフトウェア開発・販売
	(株)大同分析リサーチ	鉄鋼、鑄物、セラミックス等の分析、調査、コンサルタント

(注記)

本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。

今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。